

みゆきの里通信

2017 summer / Vol.35

担当医表 charge medicine table

		月	火	水	木	金	土
第1診察室	午前	馬場	江頭	馬場	馬場	江頭	
	午後		熊本		江頭		
第2診察室	午前	津出	馬場	金場	熊本	馬場	担当医
	午後	師岡	本田	高野	高野・有馬*	津出	
第3診察室	午前	西上	西上	西上	西上		
	午後	馬場		和田山		肥後	
統合医療センター	午前	長尾			長尾		
	午後		長尾		長尾		

※第2診察室 第1,3,5木曜：高野 第2,4木曜日：有馬となります。

●統合医療センターについては御幸病院総合受付でお尋ねください

●王研究員の漢方相談… 毎週水曜日の午前・午後
毎週木曜日の午後(15:45~)

長尾名誉院長 鍼灸漢方・健康相談を担当します。

馬場総院長 外科相談を含め種々の疾患の診療をいたします。

西上院長 循環器専門外来を担当します。

熊本院長補佐 神経内科を担当します。

川野リハビリテーション部長
本田消化器・内科医長
高野内科医長 内科を中心として、
金場リハビリテーション医長 種々の診療を担当します。
師岡循環器・内科医長
津出医師
有馬医師

肥後医師 循環器専門外来を担当します。

磯貝緩和ケア診療部長 緩和ケア病棟を担当します。
緒方緩和ケア診療部・内科医長

江頭医師 アレルギー疾患・心療内科を担当します。

和田山医師 整形外科を担当します。

●緩和ケア入院相談 月~土 8:30~17:30(随時)
相談窓口：地域医療連携センター

ニュース news

御幸病院のドック食

御幸病院では、人間ドッグを受けられた方に『マクロビオティック食』を提供しております。

肉・魚は一切使用せず、お野菜のみで全ての料理を作っています。メインディッシュは、パエリア風炊き込みご飯。玄米を使用しており、栄養満点です。

スープは、料理研究家・辰巳芳子先生が考案された命のスープです。辰巳先生のお弟子さんである、みゆきの里の山本総料理長より直々に指導を受け、提供させていただいております。

その他の料理も、高野豆腐のミートソース春巻き、大根サラダ、フルーツポンチ等々、どれもこだわりの逸品です。

ご自身の健康をチェックし、身体に優しく美味しい食事!皆様がいかがでしょうか?お問い合わせは、御幸病院まで。



特集

多職種が支え合い、
心不全治療に取り組む

御幸病院LTAC心不全センター

～医療の輪で、健康と命の尊厳を支えます～

医療法人博光会 御幸病院



【診療科目】 内科・消化器内科・循環器内科・呼吸器内科・漢方内科
リハビリテーション科・心療内科・アレルギー疾患内科・神経内科
麻酔科(ペインクリニック) [医師：岡崎止雄]

【診療受付時間】 平日 午前8時30分～午後5時
土曜 午前8時30分～午後12時 ※但し急患は何時でも受け付けます。

【施設概要】 ●緩和ケア病棟：20床
●一般病棟：30床(うち地域包括ケア病床10床)
●回復期リハビリテーション病棟：60床
●地域包括ケア病棟：29床
●医療療養病床：47床
●関連事業所：訪問看護ステーション「みゆきの里」御幸病院訪問介護事業所

詳しくはホームページをご覧ください <http://www.miyukinosato.or.jp/>

発行/医療法人博光会 御幸病院 〒861-4172 熊本市南区御幸苗田6-7-40 OTEL:096-378-1166 OFAX:096-378-1762 ○メールアドレス info@miyukinosato.or.jp

みゆきの里グループ

- みゆきの里在宅総合支援センター
- 介護老人保健施設 ぼたん園
- サービス付き高齢者向け住宅 サンシティハウス
- 特別養護老人ホーム みゆき園
- 地域密着型特養 みゆき東館
- 軽費老人ホーム 富貴苑
- ケアハウス ピオニーガーデン
- 小規模多機能ハウス ほがらか
- グループホーム ほがらか
- ウェルネススクエア和楽
- 株式会社笑健
- 株式会社みゆきの里健康ファーム
- 熊本市高齢者支援センター ささえりあ平成



みゆきの里

人が人を
おもう。
人が人を
つむ。



みゆきの里 会長
医療法人博光会 理事長
富島 三貴

毎年、梅雨入りが近くなるとみゆきの里にはツバメがやってまいります。ツバメは民家の軒下に巣を作るなど身近な益鳥として古来から親しまれてきました。今年も例年のように十組ほどのつがい営巣し、御幸病院やみゆき園ピロティーを忙しく、機敏に飛び回り、子育てを行っていました。ひなが巣立ってしまうと梅雨が明け、暑い夏がやってまいります。早朝より、セミの合唱が始まり、暑さが増幅されるように感じますが、みゆきの里が豊かな自然に囲まれている証でもあります。

さて、この4月に開設いたしましたLTAC心不全センターですが、お陰様でこの4カ月で48名にのぼる患者様をお受け入れることができました。入院患者様からは「LTAC心不全センターのお蔭で元気になって退院することができ、とても嬉しいです。」といった有り難いお言葉いただき、センター設立の意義を実感しています。

また、地元テレビ局や経済誌に日本初の試みとしてLTAC心不全センターを取り上げていただいたところであり、高齢化に伴い増加傾向にある心臓疾患への関心の高さの表れではないかと感じております。

しかしながら HCU 開設や速やかな患者様受け入れの為の人的体制の構築という課題も抱えています。増加する慢性心不全への多職種によるアプローチや心不全終末期医療の取り組みは緒に就いたばかりですので、引き続き超急性期病院をはじめとした急性期病院との連携はもとより、地域の医療機関や介護・在宅施設の皆様方との連携が不可欠です。今後ともご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

人が人をおもう。人が人をつつむ。



特集

多職種が支え合い、心不全治療に取り組む

～御幸病院LTAC心不全センター～

- P1 会長挨拶
- P2 特集
- P5 みゆきのひとヒト
- P6 みゆきの広場
- P7 担当医表／ニュース

特集 話し手：LTAC心不全センター 臨床工学技士／臨床検査技師

多職種が支え合い、心不全治療に取り組む

～御幸病院LTAC心不全センター～

今年4月に開設し、今や無くてはならない存在となった「LTAC心不全センター」。

みゆきの里の心不全治療は、どのように歩みを進めているのでしょうか。

今回は、センターを支える臨床工学技士と臨床検査技師にスポットを当て、ご紹介します。

チーム医療の一員として 高度な心不全治療を支える

今年4月の発足以来、これまでにない継続的かつ専門的な心不全治療を行う施設として注目を集めている「LTAC心不全センター」。「LTAC」とは、「Long-Term Acture Care」の頭文字です。患者様の病態やライフステージに合わせて長期的な視

野で治療を行う同センターに欠かせないのが、臨床工学技士や臨床検査技師という専門部門のスタッフ。医師や看護師、理学療法士など多種多様な職種のメンバーとともに、ハイレベルなチーム医療を支えています。

臨床検査技師の1日は、看護師による申し送りに参加することからスタートします。「チームの一員として、まずは密度の濃い情報を共有することが

「肥後道場」って何？

御幸病院では現在毎月3～4回の頻度で、九州大学医学研究院循環器内科学診療講師の肥後太基先生による講義、通称「肥後道場」を開催しております。

これはLTAC心不全センターの職員のみならず、御幸病院の職員すべてが心不全についての知識を持つべきという肥後先生のご提案により、LTAC心不全センターのスタッフで協議をした結果、実現したものです。

7月21日には通算で9回目となる肥後道場が開催され、心不全と栄養状態についての講義が行われました。心不全の患者さんの中では、ぽっちゃりした患者さんより痩せた患者さんの方が命の危険が大きいとのこと



で、心不全の患者様に対する栄養ケアの重要性が説明されました。

肥後道場は7月28日の第10回目をもって一旦終了となりますが、今後も御幸病院では折にふれ、心不全について勉強する機会を設けていきたいと考えています。



“密度の濃い情報を共有することが重要”



- 1 心電図計測の様子
- 2 PHILIPS Affiniti 70G を使用したエコー検査
- 3 生化学分析機 SIEMENS Dimension EXL200



重要」というのは、当院のすべてのスタッフに共通することでもあります。申し送りでも得られた情報をもとに、その日は何をすべきか方針を立てることも多いそうです。開設当初は比較的軽症の患者様から受け入れを開始しましたが、現在は徐々に重い症状を抱える方の受け入れも増えてきました。そこで必要となるのが、膨大な知識と経験が必要とする医療機器の管理です。

ノウハウの共有によって 病院全体がレベルアップ

心不全センターの臨床工学技士の主な業務は、循環器系と呼吸器系を主として、医療機器を通して患者さんを支えることです。循環器関係ではモニタ監視をはじめ、ペースメーカーチェックも行っています。ペースメーカー業務においては、疾患と機器に対する知識だけでなく、理学療法士と共に運動面も考慮し、患者さんの状態に合わせた設定を組んでいます。

呼吸器関係では呼吸不全に対し、通常の酸素投与より高流量で酸素を与えることができるハイフ



臨床工学室長
林 久美子

「医師の診断に従った正確な処置で、少しでも患者様の苦痛を減らし、症状の改善が図れるように心がけています」

ローセラピーや、気管挿管を行わない非侵襲的な人工呼吸NPPVなども患者さんの呼吸状態に合わせて行っています。

「機械のメンテナンスから組み立て、使用中の管理、使用後の点検まで責任を持って管理するのが私たち臨床工学技士の役割です。」と同センターの開設と同時に発足した臨床工学室長の林久美子さんは語っています。また、医療機器は日進月歩で日々進化しており、常に勉強し新しい知識を取り入れる努力をしています。院内のスタッフに対しても勉強会を開催し、全体的なレベルの底上げに取り組んでいます。」

退院後の生活も予測 適切な治療とリハビリを

病態をつぶさに観察し、継続的な治療方針を決定するために欠かせないのが、臨床検査技師の存在です。「以前は検査室での業務が多かったのですが、センターに入るようになってからは患者様とのベッドサイドでの触れ合いも増えました。患者様との交流は、やはり張り合いになりますね」と笑顔で語るスタッ

フ。センターに入院中の患者様に対しては、血液検査と超音波検査が主となります。「心臓や頸部など、難しい部位であっても正確な画像を撮ること。医師のオーダーも考慮して、異常を見落とさないように検査を行うことが求められます。経験を積むほどに精度は上がりますので、医師が自ら検査を行う際はできる限り同席させてもらい、自身のスキルアップを目指しています」。

現在、同センターは4床。今後は徐々に病床数を増やすとともに、重症の患者様を受け入れられるよう準備が進められています。近年ではICU(集中治療室)に代表される急性期の医療機関でも予後を重視した治療が行われており、呼吸器を付けながらリハビリに取り組む姿も診られるとか。「急性期と療養期、在宅復帰をつなぐ当センターでも、患者様のADL(日常生活動作)を向上し、退院後の生活をいかに質の高いものにできるか追求していかなければなりません」。顔き合うメンバーの瞳に輝いたのは、熱い責任感。そして、地域の期待と信頼を一身に背負う未来の「LTAC心不全センター」の姿でした。

御幸病院 神経内科 医師

熊本 俊秀

Toshihide Kumamoto

急性期から在宅復帰への橋渡し 回復期における神経内科の役割

今年4月より『御幸病院』に赴任。新たに開設した神経内科にて診察を行っている熊本医師。目に見えない病気を正確に診断し、治療の道筋を決定する神経内科の役割について語ります。

—神経内科とはどのような診療科目なのでしょうか。

熊本 心療内科や精神神経科と混同されることも多いのですが、神経内科は内科の中のひとつの分野。脳や脊髄、神経、筋肉の病気が主な範囲です。体の動きや感覚に異常があるとき、ことばや記憶がおかしくなったときは、神経内科の一番ですね。具体的な診察としては、まず患者様のお話をじっくりと伺います。日常生活において困っていることはないか、いつ頃から症状が始まっているかなど…その後は全身の反応を診るため、体系だった検査を実施して評価を行います。診察はハンマーやペンライト、香水などさまざまな道具を用いて行いますよ。

—当院では、外来と入院病棟の両方を受け持たれていますね。

熊本 そうです。外来はもちろんですが、回復期や療養期の入院患者様にとっても、神経内科が果たす役割は小さくないと思います。リハビリを行う過程で、これまでと違ったところはないか、合併症の疑いはないかなど、他科のドクターや理学療法士、作業療法士の皆さんと情報を共有しながら経過を観察する必要がありますね。特に当院では高齢の患者様が多いので、些細な変化も見落とさないように注意しています。

—年齢によっても、注意を払うべき病気が変わりますね。

熊本 当院では亜急性期病院という性格上、圧倒的に脳卒中の患者様の予後を診ることが多いです。次いで大きな割合を占めるのがパーキンソン病。どちらも、加齢とは切り離せない病気です。

脳卒中における麻痺などの後遺症は、当該部位の神経が働かなくなることによって起こりますが、患者様の人生はその後も続きます。リハビリによって周辺の筋肉を活性化させ、QOLの向上を図ることが可能です。退院後は在宅に戻る、施設に入所するなど多様な選択肢がありますが、いずれの場合も退院後の生活が極カスムーズに送れるように、リハビリに寄り添う診察を行っていきたいですね。

[profile]
熊本 俊秀 くまもと としひで
 医療法人博光会 御幸病院 院長補佐
 1947年4月8日生まれ 70歳
 1973年3月 熊本大学医学部卒業
 1975年4月 新潟大学脳研究所神経内科医員
 1988年6月 熊本大学医学部第一内科講師
 1994年4月 大分医科大学(現大分大学)医学部第三内科 助教授
 2003年6月 同 教授
 2013年4月 大分大学名誉教授・九州看護福祉大学看護福祉学部 教授

ぶどうの袋かけを体験!

～南阿蘇農作業体験会～

MHLP(みゆきホリスティックライフプロモーション)のOB会で作る『まるごと元気会』が、南阿蘇村で農作業体験を行いました。これはまるごと元気会が月1回行っている定例会の一環で、農作業体験は先月に続き2回目の実施。今月も南阿蘇の大自然の中で緑と土に触れ、心身ともに癒されようという企画です。

南阿蘇村河陰にある南阿蘇ビラ・マイルドに到着後、早速眼下に広がるぶどう農園のハウスへと移動します。この日お邪魔したハウスにたわわに実っていた青い実は、まだ色づく前の、成長途中の巨峰です。まずは、オーナーの息子さんである藤岡さんから袋かけの説明を聞きます。袋には透明の窓が付いており、そこから実の成長具合や色づきを確認します。南向きだとそこだけが色付いてしまうので、窓は北向きにするとうまいそうです。袋の口には針金が入っていて、くると巻くだけで簡単にとめることができます。

新聞紙で作ったお手製の袋入れを腰に下げて、いざ



ぶどう畑へ。「2房分はご自分の名前を書かれていますか?」と、藤岡さんの声に「わあ、どれがいいかな?」と、キョロキョロ見定めながら袋かけが始まりました。マイぶどうが決まった後は、もくもくと袋かけにいそむ皆さん。独学でぶどうの勉強をしたという藤岡さんから美味しいぶどうの見分け方やワインの話の話を伺いながら、およそ2時間で作業は終了しました。

ビラ・マイルドのバーベキュースペースでお弁当の昼食をとった後は南阿蘇ティーハウスへ移動し、ハーブティーの試飲やお買い物を楽しみ、この日の活動は終了です。皆さん、充実の一日だったでしょうか?お疲れ様でした!

夏野菜カレー風味そうめん

みゆきのひろば

<材料> 4人前 (218kcal/1人前)

- そうめん……………200g
- 茄子……………100g
- 玉ねぎ……………100g
- オクラ……………4本
- トマト……………中2個
- 大葉……………4枚
- 人文字……………適量
- しょうが……………20g
- めんつゆ……………適宜
- カレー粉……………小さじ1杯

ワンポイント

トマト

ビタミンC、ビタミンE、β-カロテンの3大抗酸化ビタミンを含み、動脈硬化や老化防止にも効果が期待されます。

おくら

ねばねばには整腸作用や、コレステロールの低下作用、急激な血糖の上昇を抑える働きがあります。

茄子

利尿作用があり、皮には動脈硬化防止や抗がん作用あり。

カレー粉

抗酸化作用、発汗による新陳代謝、胃腸の働きを活性化して食欲を増進させるなどの疲労回復効果があります。

ビタミンC、ビタミンE、β-カロテンなどを含む夏野菜を使用した、お勧め夏バテメニューです。カレーの風味で食欲増進を図り、スパイスはクーラーで夏冷えする体を温める効果もあります。ギュッと栄養の詰まった一品。



作り方>>

- 1 そうめんを茹で、氷水でしめておく。
- 2 玉ねぎ、茄子はさいの目に切り、それぞれ塩をふり、しんなりしたら軽く絞る。トマトはコロコロに切り、オクラは小口に切る。
- 3 麺つゆと野菜、カレー粉を加え冷たく冷やしていただく。

